

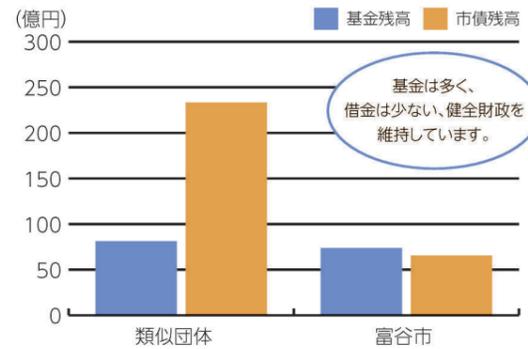
市の財政状況について — 市の基金（貯金）と市債（借金）

基金（貯金）および市債（借金）の残高は、令和6年度末で、基金が約72億8,612万円、市債が約65億5,322万円となりました。

市民1人当たり換算すると、約13万9,000円の貯金、約12万5,000円の借金となり、類似団体平均と比べると、貯金は同水準である一方で、借金は類似団体の約33万5,577円に対し、大幅に低い値となっており、健全財政を維持しています。

なお、基金は、財政調整基金から所要額を取り崩していますが、安定的に推移しており、今後も計画的な運用に努めていきます。

類似団体との基金と市債残高の比較(令和6年度決算)



※類似団体については、令和7年9月公表数値です。

令和8年度市債借入見込額の状況

道路整備事業債は市道の側溝整備や舗装修繕事業などに、脱炭素化推進事業債は市民センター6館のLED改修工事に充てるため、借り入れる予定です。

市債の目的	借入額
道路整備事業債	1億5,940万円
河川整備事業債	2,000万円
学校教育施設等整備事業債	800万円
脱炭素化推進事業債	7,200万円

令和8年度 主な基金の取り崩し見込額の状況

基金名	取崩額・充当額	令和8年度の充当事業
財政調整基金	4億9,803万円	—
長寿社会福祉基金	552万円	社会福祉協議会補助事業、福祉健康センター管理事業
とみやスイーツ基金	500万円	とみやスイーツ活性化事業、スイーツステーション運営事業
ユーマイタウン施設整備基金	3,773万円	町内会館整備事業、総合運動公園・維持管理事業、保健福祉総合支援センター運営・維持管理事業、市民センター維持管理事業
庁舎整備基金	3,481万円	公有財産維持管理事業

予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。市が行う事業の有効性、効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業、精査を経て、予算案を編成します。

令和7年	
9月上旬	予算編成方針調整期間 ・国政動向、経済情勢、市政課題を把握し、歳入（収入）額を見込み、必要な情報を収集
9月下旬	令和8年度予算編成方針決定・発表
10月中旬	予算見積書作成 ・各部各課において見積書を作成
11月中旬	市長へ各部各課の予算要求内容説明
12月中旬	第一次査定（企画部長・財政課長査定）
12月下旬	第二次査定（副市長査定） ・財政課長から副市長に第一次査定結果の提示

令和8年	
1月中旬	第三次査定（市長査定） ・市長判断を要する事業や政策的事業について、ヒアリング内容の説明 ・基金の運用や市債残高等の総合的検討 ・令和8年度当初予算案確定（予算書印刷） ・最終査定結果を各部課長へ当初予算案として通知
2月下旬	議案審議 ・予算書配布 ・予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置
3月中旬	予算案の議決
4月	新年度予算執行開始

令和8年度 市の予算と事業

令和8年度の予算概要と主な事業、市の財政状況をお知らせします。

納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿ってお知らせします。

問 財政課 ☎022-358-0619



市公式ホームページ上で、予算書を公開しています。

目次

- P 2…令和8年度一般会計予算
- P 5…その他各種会計予算
- P 6…令和8年度に実施する主な事業
- P12…市の財政状況について

富谷市が進めるまちづくり「第2次富谷市総合計画 基本構想 2026～2035」

将来像 住みたくなるまち日本一

～100年間ひとが増え続けるまち～

まちづくりの柱1
未来につながる持続可能なまちづくりの推進

まちづくりの柱2
緑豊かな自然と魅力ある都市が調和した田園都市の実現

まちづくりの柱3
子どもから高齢者まで誰にでもやさしいまちづくりの推進

7つの基本目標

- 1 想いを実現できる活力と魅力があふれるまち
- 2 快適で住み心地の良さを実感できる田園都市
- 3 次代を担う子どもたちをみんなで育むまち
- 4 子どもから高齢者まで誰もが普通の暮らしに幸せを感じながら生き生きと暮らせるまち
- 5 安全安心で誰もが暮らしやすいまち
- 6 未来へつなぐ環境にやさしいまち
- 7 協働でつくる持続可能なまち

令和8年度 一般会計予算の中身を見てみよう！

どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな？

一般会計 当初予算

190億円

令和7年度：209億2,000万円

概要

令和8年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の着実な実現に向け、限られた財源を効率的かつ効果的に活用できるよう予算編成を行いました。2月19日開会の令和8年第1回富谷市議会定例会に上程され、予算審査特別委員会（3月9日～10日）の集中審議を経て、3月12日に原案可決され成立しました。

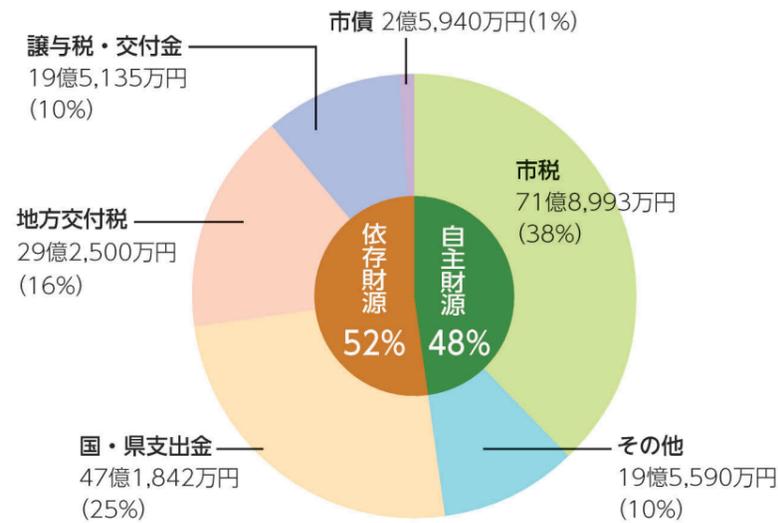
そもそも、予算とは何？

1年（4月から翌年3月）に市へどのくらいお金が入ってくるのか（収入）、また行政サービスをどのように行うか（支出）を決めたものです。予算は、市議会の審議と議決によって成立します。

決定した予算は変更できないのか

国の制度改正や災害などの不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合などに、市議会の審議と議決によって予算の補正を行うことで変更が可能です。

歳入(収入) このお金はどこからやってくるの？



自主財源 48%

91億4,583万円

市税や使用料など、市が国・県に頼らず、自主的に調達できるお金を自主財源といいます。この財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

依存財源 52%

98億5,417万円

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金を依存財源といいます。市債も該当します。

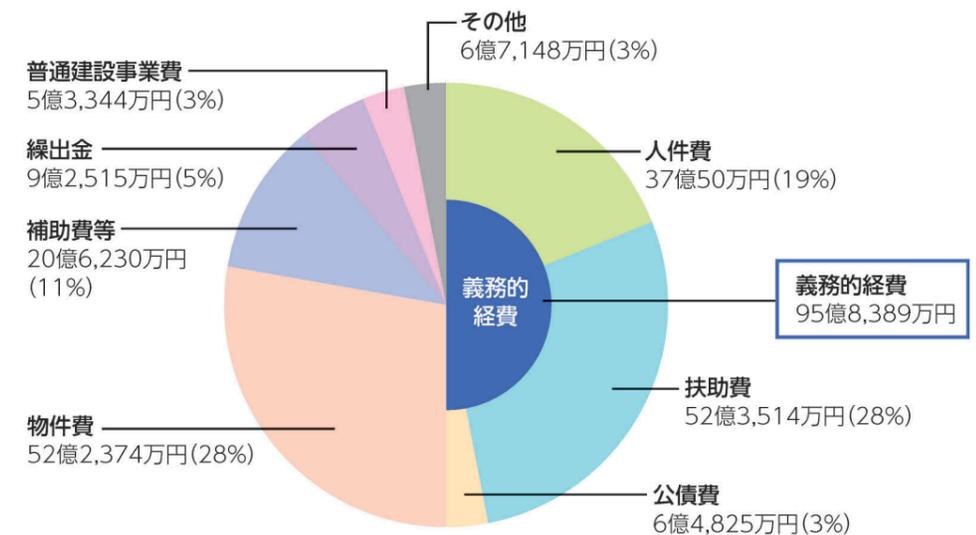
- **市税**
皆さんが、市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- **地方交付税**
全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- **国・県支出金**
国や県が使い道を決めて交付するお金です。
- **市債**
市が銀行等から借り入れるお金です。

予算を一般家庭に見立てると

年間収入	
給料収入 (市税)	214万1,464円
パート収入 (その他)	97万8,278円
銀行からの借金 (市債)	7万7,260円
家族からの援助 (地方交付税、国・県支出金)	227万6,533円
貯金取り崩し (繰入金)	18万5,465円
収入計※	565万9,000円

※一般会計予算を全国家計構造調査における宮城県内の平均年間収入 565万9,000円に合わせたもの。

歳出(支出) このお金は何に使われるの？



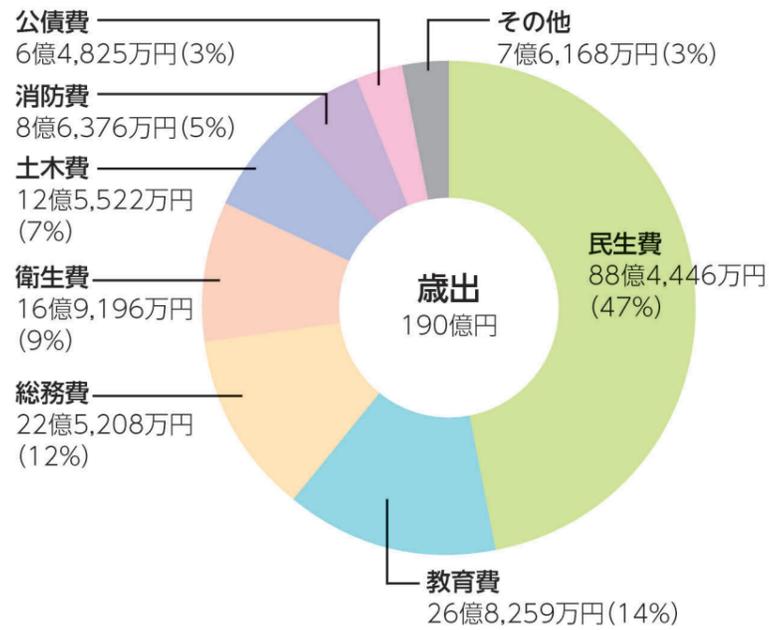
義務的経費

- **義務的経費**
人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。
- **物件費**
委託料、使用料、備品購入費、手数料、需用費、旅費、交際費などの経費です。
- **補助費等**
各種団体に対する助成金や報償金、保険料などの経費です。
- **繰入金**
特別会計等に支出する経費です。
- **普通建設事業費**
公共・公用施設の新增設等に要する経費です。

予算を一般家庭に見立てると

年間支出	
生活費 (人件費、物件費、予備費等)	296万8,559円
自宅の増築(修繕)費 (普通建設事業費、維持補修費)	31万5,713円
子育て費(仕送り・学費等) (扶助費、補助費等)	217万3,485円
ローン返済 (公債費)	19万3,076円
貯金 (積立金)	8,167円
支出計※	565万9,000円

お金の使い道 実際は何に使われているか具体的に見てみましょう



- **民生費**
児童・高齢者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- **教育費**
小・中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- **総務費**
市民バスや交通安全、防犯などの経費です。
- **衛生費**
健康や生活環境などの経費です。
- **土木費**
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費です。
- **消防費**
地域の防災や消防団活動の経費です。
- **公債費**
借りたお金やその利子を返還する経費です。
- **その他**
議会費などの経費です。

予算を市民1人当たりになると...

民生費

子どもや高齢者、障がい者の福祉などに

168,514円
(151,911円)



教育費

小・中学校、幼稚園など教育のために

51,112円
(107,135円)



総務費

市民バスの運行や交通安全、防犯のために

42,909円
(47,519円)



衛生費

ごみ処理や病気の予防などに

32,237円
(30,172円)



362,008円
(398,841円)

※令和8年1月1日現在の住民基本台帳人口52,485人で換算しています。

※ () 内は昨年度の金額です。

土木費

道路や公園などの整備に

23,916円
(20,370円)



消防費

地域の防災や消防団の活動のために

16,457円
(16,505円)



公債費

借金返済に

12,351円
(11,008円)



その他

産業や議会関連経費などに

14,512円
(14,221円)



その他各種会計予算

そもそも、特別会計とは何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。各会計とも、健全な運営に努めていきます。

下水道事業会計や水道事業会計とは何？

下水道事業会計や水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。公営企業である上下水道事業は、独立採算方式を原則とし、料金収入によって維持しています。



◎ 特別会計の予算

会計	当初予算額	主な内容
市営墓地特別会計	4,286万円	墓地管理費、地方債の元金償還金など
国民健康保険特別会計	42億342万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険特別会計	34億3,582万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	6億7,619万円	後期高齢者医療広域連合への負担金など

◎ 下水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億3,258万円
	支出	11億3,127万円
資本的収支	収入	2億7,689万円
	支出	2億406万円

収入は下水道使用料などで、支出は固定資産の減価償却費や流域下水道管理運営負担金など
収入は企業債や開発事業等に伴う寄附金などで、支出は流域下水道建設負担金や企業債の元金償還金など

◎ 水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億4,409万円
	支出	10億4,278万円
資本的収支	収入	2億202万円
	支出	3億4,326万円

収入のほとんどは水道料金で、支出は広域水道用事業所からの受水費や配水池、配水管及び給水装置等にかかる費用など
収入は企業債や宅地等の開発負担金などで、支出は建設改良事業に要する経費や企業債の元金償還金など

昨年度との比較 昨年度の予算と比較すると...

区分	令和8年度予算額	令和7年度との比較	
		予算額	増減額
一般会計	190億円	209億2,000万円	△19億2,000万円
特別会計	83億5,829万円	79億9,413万円	3億6,416万円
市営墓地特別会計	4,286万円	1,823万円	2,463万円
国民健康保険特別会計	42億342万円	41億4,532万円	5,810万円
介護保険特別会計	34億3,582万円	32億5,097万円	1億8,485万円
後期高齢者医療特別会計	6億7,619万円	5億7,961万円	9,658万円
総計	273億5,829万円	289億1,413万円	△15億5,584万円

令和8年度一般会計当初予算は、図書館等複合施設の整備が完了したことにより、昨年度から約9.2%の減額となりました。

区分	令和8年度予算額	令和7年度との比較	
		予算額	増減額
民生費	88億4,446万円	79億6,804万円	8億7,642万円
教育費	26億8,259万円	56億1,946万円	△29億3,687万円
総務費	22億5,208万円	24億9,249万円	△2億4,041万円
衛生費	16億9,196万円	15億8,261万円	1億935万円
土木費	12億5,522万円	10億6,844万円	1億8,678万円
消防費	8億6,376万円	8億6,574万円	△198万円
公債費	6億4,825万円	5億7,737万円	7,088万円
その他	7億6,168万円	7億4,585万円	1,583万円

令和8年度に実施する主な事業

第2次富谷市総合計画の7つの基本目標ごとに事業を紹介します

1. 想いを実現できる活力と魅力があふれるまち

(1) 産業創出

企業誘致事業（産業観光課） …… 2,973万円

企業立地促進奨励金・雇用促進奨励金・用地取得奨励金制度などの交付や宮城県等との連携により、企業の立地および雇用の促進への支援を行い、市の産業振興と雇用創出を図ります。

創業企業支援施設運営管理事業

（産業観光課） …… 3,306万円

起業塾「富谷塾」を運営し、塾生のニーズに合わせた適切な創業支援プログラムの実施など、市民や市内での起業・創業支援を図ります。



※地域未来交付金(537万円)を活用

中小企業制度融資事業（産業観光課） …… 7,080万円

中小企業者等の経営の安定化と発展を図るため、中小企業振興資金の融資あっせん制度により、融資に係る保証料の補給や支払利息への利子補給を行います。

移住支援事業

（企画政策課、産業観光課、農林振興課） …… 6,985万円

東京23区または東京圏から本市へ就業を伴い移住した方へ移住支援金の支給を行います。また、地域おこし協力隊を採用し、人口減少対策と地域課題の解決を図ります。

(2) 農業振興

とみやはちみつプロジェクト事業

（農林振興課） …… 126万円

市役所庁舎屋上での養蜂・採蜜を実施するとともに、養蜂家育成の支援とみつ源拡大を行います。



農作物有害鳥獣等駆除事業（農林振興課） 1,004万円

有害鳥獣による農作物の被害防除を図るため、捕獲隊員による巡回、わなの設置、捕獲等を行います。特にイノシシ対策として、電気柵等購入助成やワイヤーメッシュ柵の維持管理支援のほか、ICTを活用した捕獲を行います。

※指定管理鳥獣対策事業交付金(42万円)を活用

生産調整推進事業（農林振興課） …… 911万円

地域水田農業推進協議会が主体となり、生産調整に応じた水田の利活用促進のため、転作物への支援を拡充し、農業所得および経営の安定化を図ります。

※経営所得安定対策推進事業費補助金(138万円)を活用

農業用施設維持管理事業（農林振興課） …… 1,125万円

農業用施設の水路、農道等の維持補修や修繕および改修により、農業経営に係る環境整備を行い、農業の生産性の向上を図ります。

(3) 地域ブランド創出・観光

スイーツステーション運営事業

（産業観光課）※新規 …… 957万円

令和8年5月にオープンするユートミヤ内のスイーツステーションを「とみやスイーツ」の発信拠点として、「スイーツのまち とみや」の実現やシティブランドの確立を目指します。

街まつり運営事業（産業観光課） …… 814万円

しんまち地区でのイベントを通じ、富谷の魅力アピールとふるさと意識の醸成を図り、市民全体による「オール富谷」でにぎわいを創出します。

富谷宿観光交流ステーション運営事業

（産業観光課） …… 1,491万円

本市の偉人内ヶ崎作三郎氏の功績を広く市内外に、そして後世に伝える記念館を運営するとともに、歴史的な資源や背景を生かした観光交流の拠点として効果的な運営を図ります。なお、管理運営は指定管理者制度により実施します。



発酵のまちづくり推進事業（産業観光課） …… 94万円

発酵の文化を本市の観光資源としてPRし、観光交流人口の拡大と産業振興を図ります。



2. 快適で住み心地の良さを実感できる田園都市

(1) 土地利用

都市計画事業（都市計画課）※拡充 …… 7,843万円

自然環境とのバランスを図りながら、都市の持続的な発展に資する計画的な土地利用および安全で安心なまちづくりを推進するにあたり、大規模盛土造成地第二次スクリーニング簡易地盤調査を実施するとともに総合病院建設等に係る明石台地区の都市再生整備計画を策定します。

※防災・安全社会資本整備総合交付金(157万円)を活用

(2) 公共交通

新公共交通システム推進事業（企画政策課） …… 78万円

「富谷市地域公共交通計画」に基づき、仙台市泉中央駅までの基幹公共交通の整備に向け、昨年度実施した「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」で得られた課題についての追加調査や乗降客数に係る需要予測等を行います。

市民バス運営事業（企画政策課）※拡充 …… 7,564万円

アンケートやこれまでの住民要望等を踏まえ、市民バスの利便性向上を図るとともに、ユートミヤへのアクセス確保のため、大幅な路線再編を実施し運行します。また、市内交通需要を把握し、今後の路線再編等に活用するため、市民バス乗降調査システムを導入します。



デマンド型交通運行事業（企画政策課） …… 1,266万円

市民バスの代替路線となる交通網として、市内の東部区域および北部区域の交通空白地域を対象としたデマンド型交通の運行を行います。

(3) 道路

市道維持管理事業（都市整備課） …… 3億5,168万円

市道の適正な維持管理を図るため、除草や街路樹剪定および老朽化した路面舗装や側溝等の補修を実施することで、良好で安全な道路交通を確保します。



※公共施設等適正管理推進事業債(5,000万円)を活用

橋梁維持管理事業（都市整備課） …… 4,660万円

老朽化した橋梁を修繕し、歩行者や通行車輛の安全と快適性を確保するため、橋梁点検業務と橋梁長寿命化修繕計画の更新を行うとともに、桜木大橋の長寿命化修繕工事を実施します。

※道路局所管補助金ほか(2,805万円)を活用

(4) 公園・住宅

市営住宅維持管理事業

（都市計画課）※拡充 …… 3,154万円

市営住宅の良好な居住環境を維持するため、日常的な維持管理に加えて湯船沢住宅の屋根外壁塗装およびフェンスの設置、清水沢・宮ノ沢住宅の照明灯をLEDに交換します。

※社会資本整備総合交付金ほか(1,422万円)を活用

一般公園維持管理事業

（都市計画課）※拡充 …… 1億3,717万円

地域住民のレクリエーションやコミュニケーションの場として公園の機能維持・安全確保・魅力向上を図るため、遊具の点検、修繕、樹木剪定や除草を行います。

※防災・安全社会資本整備総合交付金(721万円)を活用

大亀山森林公園維持管理事業

（都市計画課）※拡充 …… 3,185万円



大亀山森林公園活性化実証事業としてNPO法人に委託し、年間を通じてのイベント開催と園内の管理業務を一体的に行い、施設の適正な維持管理と大亀山森林公園のさらなる魅力向上を図ります。

※みやぎ環境交付金(300万円)を活用

(5) 上下水道

上水道施設維持管理業務

（上下水道課） …… 4億7,820万円

配水池・ポンプ場などの設備や配水管等について適切な維持管理や計画的な更新に努め、安全・安心な水道水を安定的に供給します。

下水道施設維持管理業務

（上下水道課） …… 1億7,853万円

各汚水中継ポンプ場や管渠等について適切な維持管理や計画的な更新に努め、下水道サービスを安定的に提供します。

3. 次代を担う子どもたちをみんなで育むまち

(1) 子どもにやさしいまちづくり

子どもにやさしいまちづくり事業
(とみや子育て支援センター) ……82万円
ユニセフが提唱する「子どもにやさしいまちづくり事業」の実践自治体として、全庁横断的な取組を推進するとともに、「富谷市子どもにやさしいまちづくり条例」および国が推進する「はじめの100か月の育ちビジョン」について市民や関係機関に対して周知啓発を行います。

(2) 子育て環境

児童屋内遊戯施設運営事業
(子育て支援課) ※新規 ……3,050万円
児童に多様な遊びと学びを提供するユートピア内の児童屋内遊戯施設の運営を行います。



乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)
(子育て支援課) ※新規 ……1,328万円
保護者の就労要件を問わず、一定時間までの利用枠の中で保育所等を柔軟に利用できる、こども誰でも通園制度を実施します。
※子ども・子育て支援交付金(995万円)を活用

こどもの学習・生活支援事業
(子育て支援課) ※拡充 ……1,272万円
子どもが安心して過ごせる居場所として、ひとり親家庭等の子どもを対象に、基本的な生活習慣の習得支援や学習支援等を、会場を2カ所に拡大して実施します。
※宮城県母子家庭等対策総合支援事業費補助金(636万円)を活用

保育所運営・維持管理事業 (重層的支援体制整備事業)
(子育て支援課) ※拡充 ……3億603万円
公立4所に入所する児童のさらなる保育環境の整備を図るため、施設の修繕等を実施するとともに、保育士の負担軽減を図るため、新たにICTを活用した保育管理システムを導入します。
※重層的支援体制整備事業交付金ほか(399万円)を活用

(3) 子育て支援

乳幼児健診事業
(とみや子育て支援センター) ※拡充 ……1,803万円
各種乳幼児健診および保健指導を行います。新たに、出生後から就学までの切れ目のない健康診査体制整備のため、1カ月児健診および5歳児健診を実施します。
※母子保健衛生費補助金ほか(285万円)を活用

子ども医療費助成事業
(子育て支援課) ……3億6,000万円
0歳から18歳年度末までの子どもにかかる医療費のうち、保険診療に係る自己負担額および食事療養費を全額助成します。
※乳幼児医療費補助金(3,224万円)を活用

(4) 教育環境・教育・学び

市立小学校・中学校運営事業
(学校教育課) ※拡充 ……3億480万円
市立小中学校の運営を行います。なお、水泳学習事業は猛暑による熱中症リスクを回避するとともに、学校プール施設の老朽化から、市立全小中学校を民間委託に移行し、安全安心な水泳学習の環境を提供します。また、市内中学校2年生全員を対象にオンラインによる国際交流とAI英会話を実施します。
※理科教育設備整備費等補助金(45万円)を活用

社会科副読本作成事業
(学校教育課) ※拡充 ……367万円
昨年度に全小学校に導入した河北新報社との共同開発により構築した社会科副読本の機能を有する地域学習ポータルサイト「ミヤシル」を全中学校に拡充し、地域学習のさらなる充実を図ります。



教育支援センター運営事業
(学校教育課) ※拡充 ……2,616万円
増加する不登校の現状を踏まえ、専門的な知見やノウハウを最大限活用できる業務を民間委託することで教育支援センターのアウトリーチ機能をさらに強化し、これまで以上に個別最適な居場所と学びの提供を目指します。
※みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業補助金(450万円)を活用

(5) 青少年健全育成

学校給食費無償化 (学校教育課) ……3億3,342万円
子どもにやさしいまちづくりの一環として、市立小・中学校に在籍する児童生徒の学校給食費の完全無償化を継続します。

スクールソーシャルワーカー事業
(学校教育課) ……291万円
児童生徒が抱えるさまざまな問題や課題の解決に向け、支援・相談・情報提供等を行います。
※スクールソーシャルワーカー事業委託金(195万円)を活用



4. 子どもから高齢者まで誰もが普段の暮らしに幸せを感じながら生き生きと暮らせるまち

(1) 地域共生

生活困窮者自立相談支援事業 (重層的支援体制整備事業)
(地域福祉課) ……1,720万円
生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者および生活困窮者の家族、その他関係者からの相談に応じ、必要な情報提供および助言並びに関係機関との連絡調整等を行うことにより、生活困窮者の自立促進を図ります。
※重層的支援体制整備事業交付金(1,260万円)を活用

重層的支援体制整備事業
(長寿福祉課) ……1,780万円
「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業を行います。
※重層的支援体制整備事業交付金(1,334万円)を活用

敬老祝い事業
(保健福祉総合支援センター) ……2,661万円
各町内会の敬老祝い事業に対して助成を行います。また、80・88・90・100歳を迎える方へ、祝金を支給します。

(2) 健康・保健

住民検診事業 (健康推進課) ※拡充 ……1億9,974万円
胃がん検診 (今年度より内視鏡検診開始)、乳がん、大腸がん等各種がん検診や成人歯周疾患健診、脳健診などの住民検診を実施します。
※健康増進事業等補助金(466万円)を活用

保健衛生総務事務 (健康推進課) ※拡充 ……741万円
がん患者等医療用補正具購入助成や若年がん患者の在宅療養充実のための在宅福祉サービスの助成を行います。
※市町村振興総合補助金ほか(91万円)を活用



(3) 高齢者支援

高齢者在宅生活支援事業 (高齢者生活支援生きがい健康づくり事業) (保健福祉総合支援センター) ※拡充 ……2,263万円
給食サービス事業、紙おむつ支給事業、会食交流事業等を実施し、給食サービス事業については内容の拡充を図ります。

高齢者在宅生活支援事業(高齢者補聴器購入費助成事業)
(保健福祉総合支援センター) ※拡充 ……180万円
聴力が低下している高齢者に対し、日常生活におけるコミュニケーションの促進を目的として補聴器の購入に要する費用の一部を助成し、助成限度額を2万円から3万円に引き上げます。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
(健康推進課) ※拡充 ……602万円
高齢者の疾病・重症化予防とフレイル予防の促進により、健康寿命の延伸につなげます。事業実施圏域を市内全域に拡大し、フレイル予防事業のさらなる内容拡充を図ります。
※宮城県後期高齢者医療広域連合一体的実施委託料(602万円)を活用



(4) 障がい者支援

地域生活支援事業 (地域福祉課) ……4,791万円
障がい者(児)が自立した生活を営むことができるよう、地域特性や利用者の状況に応じた柔軟な形態により移動支援事業や日常生活用具給付事業等を実施します。
※地域生活支援事業補助金ほか(2,200万円)を活用

障害者自立支援給付事業
(地域福祉課) ……7億7,568万円
障がい者の自立と社会参加への支援等のため、障害者総合支援法の法定サービスに対する扶助費等を支給します。
※障害者自立支援給付費負担金ほか(5億8,099万円)を活用

(5) 医療

医療連携支援等プラットフォーム構築事業
(病院立地推進室) ……213万円



富谷・黒川4市町村、公立黒川病院、黒川医師会が連携・協力し、「東北医科薬科大学・富谷メディカルセンター(仮称)」を含めた「医療連携支援等プラットフォーム」を構築するため、各種会議の開催や調査等を実施します。
黒川地域行政事務組合(病院運営)負担金事務、黒川地区休日当番医事業 (健康推進課) ……4,755万円
公立黒川病院への運営支援のほか、黒川医師会等と連携して休日当番医事業を実施し、地域医療の充実を図ります。

6. 生涯学習

ユートミヤ維持管理事業

(企画政策課) ※新規 3,614万円

人がつながり、文化と創造性を育む生涯にわたる学びと交流の拠点となるユートミヤ(市民図書館・児童屋内遊戯施設・スイーツステーション)の適切な維持管理を行います。



市民図書館運営事業

(生涯学習課) ※新規 1億909万円

ユートミヤ(富谷市複合図書館)内の市民図書館(センター館)について市民協働の視点を踏まえて運営を行います。

市民図書館分館運営事業

(生涯学習課) ※新規 1,651万円

市民図書館(センター館)と連携し、各市民センター内の市民図書館分館の運営を行います。また、これまで各公民館に配置していた図書指導員を図書館司書として配置します。

市民センター維持管理事業

(市民センター) ※拡充 2億4,067万円

公民館6館をすべて市民センター化し、地域の多様な主

体による協働のまちづくり活動の拠点として運営します。市民センター6館のLED改修、日吉台市民センター外部鉄骨階段補修等、経年劣化に伴う修繕を実施します。

※脱炭素化推進事業債(7,200万円)を活用

7. スポーツ

総合運動公園運営・維持管理事業

(生涯学習課) 1億1,952万円

施設利用のオンライン予約サービスを活用し、市民の利便性の向上を図るとともに、老朽化した施設の計画的な整備を進め、総合運動公園の充実強化を図り、スポーツ大会やイベントの開催による交流人口の拡大に努めます。

やすらぎパークとみや維持管理事業

(生涯学習課) 3,636万円

パークゴルフ場の芝生や管理棟の適切な運営と維持管理等を行い、市民の憩いの場およびレクリエーション活動の場を提供します。

8. 芸術・文化

埋蔵文化財発掘受託事業

(生涯学習課) 3,113万円

成田二期北土地区画整理事業に伴う遺跡の本発掘調査において、遺跡保存の手法の一つである「記録保存」での報告書を刊行します。

※成田二期北発掘調査事業者負担金(3,113万円)を活用

5. 安全安心で誰もが暮らしやすいまち

(1) 防災・救急・消防

災害対策総務事務(防災安全課) 396万円

災害発生時や熊出没時に安全安心メールで市民へ正確な情報を迅速に伝達します。

消防ポンプ整備事業(防災安全課) 746万円

火災発生時の現場管理能力向上のため、新たに消防指揮車を購入し、消防力の強化を図ります。

※石油貯蔵施設立地対策等交付金(740万円)を活用



(2) 防犯・交通安全・消費生活

交通安全対策総務事務(防災安全課) 91万円

ヘルメット着用による頭部への負傷防止のため、自転車用ヘルメットの購入費の一部助成を継続します。

防犯対策総務費(防災安全課) 120万円

犯罪を抑止し市民の防犯意識の高揚を図るため、特殊詐欺対策機能付き電話購入補助金および防犯対策用品購入費等補助金より、購入金額の一部助成を行います。

道路交通安全施設整備事業

(都市整備課) 4,642万円

道路の交通安全を確保するため、道路区画線や路面標示等の補修のほか、道路照明灯、防護柵、カーブミラーなどの交通安全施設の整備と維持管理を行います。



(3) 人権尊重・男女共同

人権教育・行政・生活相談事業

(市民協働課) 117万円

人権擁護委員による人権教室や街頭啓発などの活動支援、人権擁護委員の候補者推薦事務、人権・行政・生活相談、法律相談窓口の開設などを行います。

女性活躍推進事業(市民協働課) ※新規 99万円

第2次男女共同参画基本計画を推進していくにあたり、職場や地域における女性活躍を推進するセミナー等を開催します。

6. 未来へつなぐ環境にやさしいまち

(1) 自然環境

森林再生プロジェクト事業

(農林振興課) ※新規 859万円

杉林を広葉樹に樹種を転換する森林整備を行い、環境教育や自然とのふれあいの場としての活用、脱炭素社会に向けた取組の推進に資するとともに、森林環境の保全に取り組みます。



※森林育成事業補助金(579万円)を活用

河川維持管理事業(都市整備課) 5,078万円

河川、調整池およびその付属施設の維持管理上支障となる除草を行うとともに、防災の観点から準用河川の浚渫を実施し、適正な管理を行います。

※緊急浚渫推進事業債(2,000万円)を活用

(2) ゼロカーボン

ゼロカーボンシティ推進事業

(企画政策課) ※拡充 639万円

公共施設や学校へのグリーンカーテン設置および市民啓発事業を継続して実施するとともに、家庭における再生可能エネルギーの普及促進のため、太陽光発電システム、定置用蓄電池等の設備を設置する世帯を対象に補助金を交付します。



※みやぎ環境交付金(239万円)を活用

7. 協働でつくる持続可能なまち

(1) 地域活動・市民活動

自治振興事業(市民協働課) 1,816万円

地域コミュニティの中核である町内会の活動を支援し、地域住民相互の親睦融和を図るため、補助金の交付や交流会の開催を行います。

町内会館整備事業(市民協働課) ※拡充 1,478万円

町内会館のスロープ設置や外部改修工事のほか、多くの町内会館においてLED照明の改修が必要となるため、新たにLED改修等推進事業補助金の交付を行います。

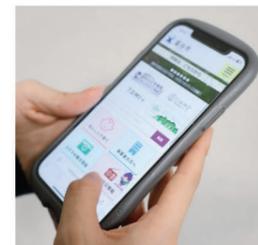
※みやぎ環境交付金(170万円)を活用

(2) 市民参加・広報広聴

地域情報化推進事業

(市長公室) ※拡充 2,034万円

誰もが必要な情報を探しやすい、スマートフォンでの閲覧性を高めるとともに、市の魅力が伝わるWebサイトとするため市公式ホームページの全面リニューアルを行い、情報発信の強化を図ります。



(3) エネルギーの地産地消

ゼロカーボンシティ推進事業(再掲)

(企画政策課) ※拡充 639万円

燃料電池バス(FCバス)の路線運行を継続するとともに、再生可能エネルギーや水素エネルギー等の地産地消に向けて、市民への利活用に関する啓発活動を実施します。

※みやぎ環境交付金(239万円)を活用

(4) ごみ対策

清掃センター移転事業

(生活環境課) ※新規 1,999万円

仙台市から借用している敷地の使用期間終了に伴い、新たに粗大ごみ等のストックヤードを整備するための基本設計・基本計画を行います。

※循環型社会形成推進交付金(496万円)を活用

(5) 生活環境

市営墓地管理事業(生活環境課) 4,286万円

市営墓地の適正な維持管理を行い、清潔で快適な墓園環境を維持します。

狂犬病予防事業(生活環境課) 458万円

狂犬病の発生を未然に防止し、安全・安心な生活環境を保全するため、狂犬病予防法に基づく飼い犬登録管理や集団予防注射を実施します。

(3) 官民連携・多様な協働

市民協働推進事業(市民協働課) ※拡充 36万円

「とみやわくわくミーティング」について、名称、内容ともにリニューアルし、市長がさまざまな現場で市民の皆さんから市政に関わる声を伺いながら、市民ニーズに寄り添った市民協働によるまちづくりを推進します。



(4) 行財政経営

ふるさと納税推進事業(財政課) ※拡充 1億3,739万円

これまでのポータルサイトにおける寄附申込方法に加え、現地決済型の返礼品を追加することにより市の魅力をPRするとともに、健全な財政運営を行います。

パソコンリース等事業(総務課) ※拡充 4,599万円

国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」に基づきRPAの利用を推進し、定型的な業務を自動化することで事務の効率化を図り、職員負担の軽減を目指します。